

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.		17-	6
事業名	笹尾コミュニティーセンター経費	会計 一般	款 10
政策	6 人生を豊かにするために	項 5	目 3
施策	6-1 生涯学習の推進	課名	社会教育課
		係名	生涯学習係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	中央公民館の分館として地域住民の芸術、文化及び社会教育の向上を図り、併せて社会福祉の増進に寄与する。
事業内容	中央公民館の分館として、地域住民の芸術、文化及び社会教育の向上を図り、併せて社会福祉の増進に寄与するため、地域住民のサークル活動や地元自治会等のコミュニティ活動などに施設を提供する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
1	笹尾コミュニティーセンター利用者数	13,880	16,678		人		19,000	
2								
3								
4								
5								
			令和3年度（決算）		令和4年度（決算）		令和5年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			30,673		11,582		26,890	
財源内訳	直接事業費A		25,441		6,350		21,130	
	うち一般財源		16,285		4,439		2,022	
人件費（千円）B			5,232		5,232		5,760	
内訳	一般職員（人・千円）		0.25	1650	0.25	1,650	0.33	2,178
	臨時職員（人・千円）		1.99	3582	1.99	3,582	1.99	3,582

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	施設設備に係る保守点検により、劣化等改修時期を見極め、長期保全計画に基づき計画的に改修工事を行い、施設の適正な維持管理に努める。	③取組の課題	施設の老朽化の状況によって、長期保全計画の見直しを適宜行う必要があるが、改修等内容によっては財源確保が困難となるケースが想定される。今後適正な使用料に見直す必要がある。
②R4年度に実施した取り組み	屋上受変電設備（キュービクル）改修工事を実施。	④今後の改善計画	長期保全計画に基づき計画的に改修工事を行い、施設の適正な維持管理に努める。併せて、公の施設の使用料を見直しを検討する。